

実験系廃液の分別貯留区分について

実験室で発生する廃液は、別表1に従いできるだけ細かく分類（例えば元素、化合物別に）して、所定の容器に分別貯留する。ただし、含ハロゲン廃液や腐食の恐れのある有機廃液の貯留には、10Lポリ容器を用いる。

なお、貯留に際しては、次の事項に十分注意すること。

- 1 沈殿物や混合して沈殿の生じる物質を混入させない。
- 2 発火性廃液及び病原体を混入させない。
- 3 著しい悪臭を発する物質を含まない。
- 4 貯留中又は処理中に事故発生の恐れのある物質を混入させない。

別表1

| | 分別貯留区分 | 対象成分 | 摘要 | 容器 |
|-----|-------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 無機液 | 水銀系廃液 | 無機水銀 | ・pH：4～7で貯留する。 ・金属水銀、アマルガムは除く。 | 白色2口ポリ容器(20L) |
| | シアン系廃液 | シアン化物イオン シアン錯イオン | ・pH \geq 10.5で貯留する。 | 赤色2口ポリ容器(20L) |
| | 重金属系廃液 (有害)* | Cd, Pb, Cr, As, Se | ・酸性廃液とアルカリ性廃液は別々に貯留する。 | 白色2口ポリ容器(20L) |
| | 重金属系廃液 (有害以外)* | 上記以外の金属・元素 | ・酸性廃液とアルカリ性廃液は別々に貯留する。 ・例えば、金、銀、銅、鉄など。 | 白色2口ポリ容器(20L) |
| | 強酸系廃液 | 強酸性廃液 (pH \leq 2.0) | ・重金属類を含まない。 | 白色2口ポリ容器(20L) |
| | 強アルカリ系廃液 | 強アルカリ性廃液 (pH \geq 12.5) | ・重金属類を含まない。 | 白色2口ポリ容器(20L) |
| | 弱酸系廃液 | 弱酸性廃液 (pH $>$ 2.0) | ・重金属類を含まない。 | 白色2口ポリ容器(20L) |
| | 弱アルカリ系廃液 | 弱アルカリ性廃液 (pH $<$ 12.5) | ・重金属類を含まない。 | 白色2口ポリ容器(20L) |
| 有機液 | 特殊引火物含有廃液 | 消防法の特殊引火物に該当する溶媒（エーテル、ペンタン、二硫化炭素、アセトアルデヒド等） | ・重金属を含まない。 ・酸等腐食性物質を含まない。 ・ハロゲン系溶媒を極力入れない。 | 小型ドラム缶 (20L) |
| | 可燃性極性廃液 | 自燃性があり、水と混合する溶媒（メタノール、エタノール、アセトン、THF、DMF、DMSO等） | ・重金属を含まない。 ・酸等腐食性物質を含まない。 | 金属容器もしくは 10L 白色ポリ容器 (黄色テープ貼付) |
| | 可燃性非極性廃液 | 自燃性があり、灯油と混合できる溶媒（ベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、酢酸エチル、機械油等） | ・重金属を含まない。 ・酸等腐食性物質を含まない。 | 金属容器もしくは 10L 白色ポリ容器 (赤色テープ貼付) |
| | 含ハロゲン廃液 | ハロゲン系溶媒（ジクロロメタン、トリクロロエチレン、クロロホルム、四塩化炭素等） | ・熱分解により無害化できるものに限る。 ・重金属を含まない。 ・酸等腐食性物質を含まない。 ・特殊引火物を極力入れない。 | 10L 白色ポリ容器 (黒色テープ貼付) |
| | 含水有機廃液 | 水を含む上記溶媒（抽出後水相、逆相 HPLC 溶離液等） | ・重金属を含まない。 ・酸等腐食性物質を含まない。 ・塩類を極力入れない。 | 10L 白色ポリ容器 (緑色テープ貼付) |

* ベリリウム、オスミウム、タリウムは処理できない。